



農業公社の耕起作業

よる産地づくり交付金が減額されるが、この配分は生産調整を行った農家のうち、集荷円滑化対策加入農家に対して行われる。しかし、現実には集落営農組合などの団地に集中配分されるため、個人農家への配分が当初予定額より減額配分される不公平感がある。この減額に対して単市の補助金を出す、また、担い手対策、小規模農家への市独自の補

助金という議論もあるが、財政的に厳しい問題もあり、農業委員、農業公社、若手農家、小規模農家などで構成する総社農業会議を立ち上げ、将来の農業ビジョンを抜本的に議論することを今後検討したい。農業公社は荒廃地を防ぐいい働きをしている。ただ、大型機械の入らない所は行けないとか、市内全体に耕作権利を持ちながら山手地

問 ①地域主義、弱者主義、格差是正を大不況の現時点でも貫けるか。景気対策として、三菱自動車新車購入補助のような新たなキヤッシュバックシステム、中小零細企業への小口制度に対する金融機関の裏打ち対策をどう行っていくのか。②新医療体系を確立したが、ユニチカ跡地へ企業を誘致し、その収益で環境のよい広大な土地を確保して、県南の大病院の分院を誘致することはできないか。③鬼ノ城へ車が進入できるようにしてほしいが、観光プロジェクトで観光施設についてどのような交通体系の提言がされているか。

答 ①三菱自動車新車助成は、三菱関連企業の稼働日数の激減をみたとき、動日数の激減をみたとき、市民としてすぐ手を打たなければならぬと考えた。また、中小、下請け企業の倒産が予測される中、県産業振興財団、ウイングパレイ等と共同して政府系金融機関の低利な融資相談会を開催した。市としてはその裏打ちをしていないが、さまざまなネットワークを通じて金融界へ結びつける努力をしていきたい。②本市が属する県南西部医療圏の基準ベッド数は7548床、もう既存ベッド数が9088床と超えており、新規総合病院を誘致

できない法的拘束がある。このため、全国的な医師不足の中、巨大インフラを整備し、新たな医師や看護師を確保して運営するのは非常に困難である。③現時点では、鬼ノ城へは歩いて上がる手段がよいと思うし、鬼ノ城のよさは交通手段の利便性により解決を図るものではないと思う。観光プロジェクトでは、東総社駅の扱い、国分寺周辺への散策ルートなど、二次交通体系を協議しており、結論が出しだい報告したい。④雇用対策として、松くい虫対策等林業分野で岡山県が臨時職員を募集したが、職人芸的な要素があり、困難な部分があった。できる限り困っている方が救えるようなものがあれば、他の分野で前向きに考えていきたい。(市長)

い交流であり、ぜひ続けていくべきだと実感したので、今後力を入れてやりたい。②姉妹都市は多くの市民の理解が必要。やるなら愛さ

《秋山 律郎》 当面の財政運営について

問 ①今回の金融危機で税収への程度影響があると考えるか。また、起債償還のピーク、将来合併による地方交付税算定特例期間が終了するなど、この厳しい難局をどういう方針で乗り切ろうとするのか。②ガラス張り市長室での市民の意見を平成21年度当初予算にどのように反映させたのか。

答 ①平成21年度当初予算で法人市民税25%減と見立て、税収全体で約4億6000万円の減収を見込んで編成した。景気対策として三菱自動車購入10万円助成、小中学校の耐震補強工事、道路改良などの前倒し、景気問題等連絡



復元された西門と土塁

れる交流にしなければならぬ。山手エリアから市全域への考え方にすることなど、大事な問題であるので、議会と相談しながら検討し調整会議を開催し、ハローワーク、商工会議所等と協力して雇用対策や生活の確保等、17の解決方法を用意した。歳入歳出全般の見直し、行政改革、企業誘致等を進めて雇用の確保、財政健全化を進めていく。②身近再生予算を望む声が圧倒的に多く、道路・水路の維持管理予算、中山間地域でのお年寄りの足の確保として4月から昭和、阿曾

ていきたい。(市長)
このほか、子育て王国というじゃの充実について質問しています。地区でコミュニティバスの運行、独居老人のバス、タクシー券の対象拡大、24時間夜間医療体制の整備、交通安全施設の予算確保等を行った。(市長)
鬼ノ城の整備について
問 ①平成13年に平成22年を目標とした環境整備基本計画を策定し、鬼ノ城の保存調査、整備が行われ

ているが、計画どおりに進んでいるのか。
②計画終了後の平成23年度以降の整備計画はあるのか。
③事業の節目として成果を知らせる記念事業を考えたかどうか。
答 ①今までに主に鬼ノ城西門、北門、ビジターセンター等を整備、平成22年度までに城壁復元を予定している。大きなものはほぼ計画どおりである。②岡山県の城内確認調査が平成23年度まで続くので、その成果と、南門、東門の整備が平成23年度以降必要であるので、今後鬼ノ城整備委員会の意見や国県と協議しながら進めていきたい。③現在進行中の西門を含めた城壁等復元エリアが平成22年度に完成するので、平成23年度に記念事業を考え、関係者にも感謝の意を表したい。(教育長)

このほか、岡山県建設事業費市町村負担金、環境観光大使について質問しています。
①米の生産調整を行わなかつた農家が約半数あるため、生産調整達成に

るか、商工会議所と共同してプレミアム商品券で本市が補てんするか否かなどの議論を始め、購買力の向上について前向きに検討していきたい。(市長)

《大熊 公平》 市長の政治姿勢について

問 ①水田農業の生産調整参加・不参加に対する不公平感、国の産地づくり交付金への上乗せ、水田農業ビジョンの担い手への支援をどう把握し、どのように考えているか。耕作放棄地を担い手育成でどう解消していくのか。農業公社の公益性、どういう位置づけで、どういう展開をしているのか。②景気問題等連絡調整会議、景気問題等相談窓口の設置をはじめ、三菱自動車新車購入助成などを含めた景気対策事業費を計上したが、緊急経済対策、景気対策への取り組む姿勢として、内需拡大が必要であり、定額給付金プレミアム商品券の発行など早くして、地元商店で使うようにする考えはないか。

答 ①米の生産調整を行わなかつた農家が約半数あるため、生産調整達成に